

児童発達支援自己評価表(平成30年度)

環境・体制整備	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		療育体制の基準を満たしており、療育室・訓練室・ADL室といったスペースを確保できています。
職員の配置数は適切であるか	○		人員配置基準を上回っています。
生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		施設内はバリアフリー化になっており、トイレも車椅子対応になっています。また、構造化した環境を準備し、幅広く障がい特性に応じた環境を整えています。
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達に活動に合わせた空間となっているか	○		毎日の清掃を徹底しています。また、身辺自立を行う場とサーキット活動など身体を使う場を分けたり、パーティションを開閉することで、必要なスペースを確保することができています。

業務改善	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎朝全職員参加でミーティングを開き、課題に対して話し合いを行っています。また、ケース会議を通して個々の目標の共有を行ったり、2ヵ月に1回行っている“利用者支援で気になること協議”を通して、業務を改善を図っています。
保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者等向け評価表の他、就学や次年度ご利用希望調査表などにも保護者の意見・要望を記入する欄を設け、業務改善につなげています。
事務所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所職員向け自己評価を行い、保護者評価表と共に施設内2ヵ所（玄関・療育室）に掲示し、いつでも観覧できるようにしています。また、ホームページにも公開しています。
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在実施の予定はありませんが、必要に応じて検討します。
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		保護者向け研修を開催したり、法人内研修や、熊本県北部発達障がい者支援センターわっふる主催の研修等を受講することで、資質の向上を行っています。

適切な支援の提供	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的にあセスメントやモニタリングを行い、児童発達支援計画書を作成しています。
子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化したアセスメントツールを使用し、評価を行っています。

児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		「発達支援」「家族支援」「地域支援」を盛り込んだ具体的な計画を立て、総合的な支援を設定するようにしています。
児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		療育前に計画を確認し、活動に取り組んでいます。
活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		ミーティングや主活動会議等を現場職員で行い、チームでよりよい療育を目指しています。
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		サーキット会議（主活動会議）を通し、個別の課題と集団の課題を盛り込んだり、回数に応じて難易度を調整することで、プログラムが固定化しないように工夫しています。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		子どもの出来ることが増えるよう、保護者様と話し合い個別活動と集団活動を組み合わせています。
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容な役割分担について確認しているか	○		来所前に支援の細かな内容や準備・役割分担について確認を行っています。
支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		翌朝のミーティング時に共有しています。
日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回保護者様と職員と共有した記録をとり、また翌朝のミーティングの記録をとりながら支援の検証・改善につなげています。
定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1回のモニタリングを基本に、変化がある場合は、その都度支援計画書の見直しを行っています。

関係機関や保護者との連携	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者または、子どもの担当職員が参加しています。
母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		地域の保健師、福祉課、相談支援事業所、園等と連携をとっています。
（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		主に相談支援事業所と連携をとりながら支援を行っています。今後も関係機関と連携していきます。
（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		連絡がとれるように、支援会議や電話等を通して、関係づくりを行っています。

移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて移行支援の会議を開催したり、電話等で情報の共有を行っています。
移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者と共に学校の見学を行ったり、必要に応じて移行支援の会議の開催、電話等で情報の共有を行っています。
他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		熊本県こども総合療育センターの支援や、他の圏域の児童発達支援センター等の助言を受けています。
保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか		○	公共機関や地域福祉交流館などを通して、交流する機会を設けていきます。
（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		積極的に自立支援協議会の子ども部会へ参加しています。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		親子療育を行っているため、毎回療育時に保護者様と話し、共通理解を図っています。
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		親子療育を通して行っています。

保護者への説明責任等	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時や変更時に分かりやすい言葉で説明するように心掛けています。
児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		「個別支援計画書」を提示しながら、支援内容や手立てについて説明を行い同意を得た上で、サイン・押印をいただいています。
定期的に、保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		親子療育を行っている為、来所時や療育後の時間を活用し、保護者様の相談に対し、必要な助言や提案を行っています。
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	○		親の会の活動に協力しています。
子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		日頃から、子どもや保護者が気軽に意見を言えるような関係づくりを行っています。現場職員で難しい時には療育相談員、苦情解決窓口へつながっていかれるよう、体制を整えています。
個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		同意書を取ると共に、取扱いには十分注意しています。

障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		メモや手順書を活動していただく等、その方に合った方法を用いています。
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		同法人の行事（秋祭り等）に地域住民の方を招待して、地域に開かれた事業運営を図っています。

非常時等の対応	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	マニュアルは整備していますが、保護者様にも周知していただけるよう、掲示方法等を検討します。
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		法人全体の訓練と事業所内の訓練を計画的に行っています。
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作時等のこどもの状況を確認しているか	○		アセスメント時に確認を行うとともに、発作記録表や聞き取りにより、子どもの状況を確認しています。
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	親子療育の為、保護者様が対応されています。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット用のファイルがあり、事例を綴っています。いつでも観覧できるようにしています。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人内に虐待防止委員会があり、
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		現在のところ、切迫性・一時性・非代替性全てみだし、身体拘束を行う場面はないが、重要事項説明書等を通して今後も詳しく説明を行っていきます。

放課後等デイサービス自己評価表（平成30年度）

環境・体制整備	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			療育体制の基準を満たしており、療育室・訓練室・ADL室等、各活動に合わせたスペースを確保できています。
職員の配置数は適切であるか	○			人員配置基準を上回っています。
事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設内はバリアフリー化になっており、トイレも車椅子対応になっています。送迎車も車いすに対応した福祉車両があります。

業務改善	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎朝全職員参加でミーティングを開き、課題に対して話し合いを行っています。また、ケース会議を通して個々の目標の共有を行ったり、2ヵ月に1回行っている“利用者支援で気になること協議”を通して、業務を改善を図っています。
保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等向け評価表の他、次年度ご利用希望調査表など各種アンケートをとる際にも保護者の意見・要望を記入する欄を設け、業務改善につなげています。
この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			保護者評価表と共に施設内2ヵ所（玄関・療育室）に掲示し、いつでも観覧できるようにしています。また、ホームページにも公開しています。
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在実施の予定はありませんが、必要に応じて検討します。
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			保護者向け研修を開催したり、法人内研修や、熊本県北部発達障がい者支援センターわっふる主催の研修等を受講することで、資質の向上を行っています。

適切な支援の提供	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを丁寧に行い、子どもと保護者様のニーズや、子どもの課題に対して複数の職員で意見を出し合い計画を作成しています。
子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化したアセスメントツールを使用し、評価をおこなっています。
活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティングの時間をつくり、意見交換をしながら行っています。
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			ミーティングの時間をつくり、意見交換をしながら行っています。
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			療育時間や子どもの特性・課題に応じた活動内容を取り入れると共に、季節によって花見やプール・外出などの活動を行っています。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの特性や状況に合わせて、個室での対応や集団活動を行っています。
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容な役割分担について確認しているか	○			午後にミーティングの時間をつくり、個別支援計画の目標や活動内容・担当などの確認を行っています。
支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			翌朝のミーティングにて、情報の共有を行っています。
日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ご利用の都度目標や目標に対する対応を記録に残し、検証・改善につなげている。
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			基本的に半年に1回のモニタリングを行い、変化が見られた場合はその都度、支援計画書の見直しを行なっています。

ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	○			圏域の複数の事業所等と勉強会を行 い、内容を確認しながら事業を展開し 支援を行うようにしています。
--------------------------------------	---	--	--	---

関係機関や保護者との連携	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者 が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者、もしくは対 象児の状況に精通している職員が出席 しています。
学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整 （送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか	○			基本的には、保護者様を通して連絡調 整を行っていますが、難しい場合には 保護者様了解の下、直接学校と連携を とるようにしています。
医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている か			○	医療的ケアが必要な方は、同法人の別 の事業所を利用されています。
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共 有と相互理解に努めているか	○			利用されている方の大半が、同じ事業 所の児童発達支援事業から引き続き利 用されているため、園・学校との情報 共有等連携が出来ています。
学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、 それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか			○	現在のところ、対象となる方がおられ ません。
児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ているか	○			発達障害者支援センターわっふる主催 の研修を受講したり、熊本県こども総 合療育センター等の支援を受けていま す。
放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の ない子どもと活動する機会があるか		○		長期休みの際などは図書館やプール等 公共機関へ出かけていますが、障がい のない子どもと一緒に活動するまで には至っておらず、同じ空間を共有して おられます。
（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加して いるか	○			積極的に自立支援協議会の子ども部会 へ参加しています。

日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートや送迎時、モニタリングを通して保護者と共通理解を図っている。
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			親子療育での取り組みを思いだし、振り返りながら支援方法の確認を行ったり、手順書作りの補助、また、気持ちに寄り添いながら関わり方を専門的な目線で助言させていただく等の対応を行っています。

保護者への説明等	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や変更時に分かりやすい言葉で説明するように心掛けています。
保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡ノートや送迎時を利用し、ご家庭での様子や困りごとについて相談に応じています。必要に応じて電話や来所での面談をおこなっています。
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同時の連携を支援しているか			○	親の会や勉強会を通して、保護者同士が顔見知りになっていただけるよう対応しています。
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		現在苦情が届いていないので、返事のしようがありませんが、苦情受付担当を設けたり、第三者委員、市町村などの窓口も紹介しています。
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		月一回発行しています。また、法人のホームページにも掲載しています。ホームページの更新はもう少し小まめに対応していきます。
個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			十分注意を払うとともに、契約時に同意書をいただいています。
障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか			○	その方に合った方法で配慮するようにしています
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			同法人の行事（秋祭り等）に地域住民の方を招待して、地域に開かれた事業運営を図っています。



非常時等の対応	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか			○	マニュアルの場所について、保護者をご存じないと思われます。目に触れる場所へ掲示するなどして周知を図ります。
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			法人全体の訓練と事業所内の訓練を計画的に行っています。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか	○			法人内に委員会があり、アンガーマネジメント等法人内研修にも参加しています。
どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現在身体拘束を行うことはありません。必要な場合には、組織的に決定し、本人・他族に十分説明し同意を得た上で対応していきます。また、その際は、切迫性・一時性・非代替性などの詳細を記録に残します。
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在、医師の指示書が必要な方がいらっしゃいません。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハット用のファイルがあり、事例を綴っていています。いつでも職員が観覧できるようにしています。

## 平成30年度 児童発達支援 評価表 (保護者向け)

	環境・体制整備	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13					・確保していると思うが、参加人数が多い時は少し不安に思うこともある。	・安全面に配慮し、子ども、保護者共に安心して過ごしていただけるよう対応します。
②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12		1				
③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12			1			
④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13						

	適切な支援の提供	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13						
⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供及び移行支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12			1			
⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13						
⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	2		2		・毎回様々な工夫がされていると思う。	・サーキット会議を毎週開くことで、主活動に変化をもたせるようにしています。
⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	1	5			

	保護者への説明等	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1					
⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13					・保護者の希望に沿って計画書の立案、作成をしていると思う。	・計画書の説明を行う際は丁寧にお伝えするよう心掛けています。

⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	11			2			
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13					・毎回日頃の様子や変化を報告することで様々なアドバイスをもらえ、助かっている。	・より多く情報を共有できるよう、自由時間や療育時間の会話を大切にしています。
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13						
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	2		2	1		
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13						
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13						
⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	1		4			
⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11			2			

	非常時等の対応	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	2	1	3			
㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	1	2	2			

	満足度	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	13						
㉓	事業所の支援に満足しているか	12	1				・いつも丁寧に対応してもらい感謝している。	・今後も保護者の皆様と一緒に子どもの成長を応援させていただきます。

## 平成30年度 放課後等デイサービス 評価表（保護者向け）

	環境・体制整備	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	3		1	・個室で個別対応又は、職員の部屋で対応（本人の意思）	・本人の課題に応じて環境設定を行っています。又、調べものや本人の要望に沿って事務所を利用する機会があります。
②	職員の配置数や専門性は適切であるか	25	1	1		・よく分からない。	・職員の配置数は基準を満たしています。今後も各専門職員がそれぞれの強みを活かして療育を行っていきます。
③	事務所の設備などは、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	2		1		

	適切な支援の提供	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	25	2				
⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	18	7		2		
⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	15	3	3	・よく知らない。 ・本人もあまり望んでいないかも。でも、そういう場があるのも良いかも。	・本人の意思を確認した上で、公共機関や地域福祉交流館などに足を延ばし、交流を図っていきます。

	保護者への説明等	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
⑦	支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明がなされたか	24	3			内容はあまり聞く機会がない。	・契約時、勉強会、報酬改定が行われた時などに説明を行っています。今後も、上記の機会だけではなく、普段からお気軽に尋ねて頂けるような関係を築いてまいります。
⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26		1			
⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	1	1	1		

⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	6	1	1	・仕事の都合で中々参加できない。	・今後も親の会などと協力を図っていきます。
⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	6		1	・苦情の事例を聞いたことがないのでよく分からない。	・苦情があった際には保護者の皆様にも情報の共有を図っていきます。
⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか	25	1	1			
⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	7	2	2		
⑭	個人情報に十分注意しているか	24	2		1		

	非常時等の対応	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	14	2	2	・把握できていない。	・マニュアルを掲示すると共に、感染症流行時や保護者からお尋ねがあった際に説明を行います。
⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	15	2	2	・わからない。	・月間行事予定表や連絡ノートなどに書き込み、お知らせします。

	満足度	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	25	2			・やや気分が乗らない日も楽しかったと帰ってくる。	・子どもの気持ちに寄り添い、楽しみを通して身の自立、社会性、コミュニケーション力を伸ばしていかれるようサポートしていきます。
⑱	事業所の支援に満足しているか	25	2			・大変ありがたい。 ・内容や計画などを教えてほしい。助言もほしい。	・計画書の提示や連絡ノートを通して目標や取り組みの内容、本人の反応などをお伝えしています。今後はより分かりやすい説明を目指していきます。